

クラス	313	担当教員	齋藤一晴（さいとう かずはる）
テーマ	歴史学、歴史教育から現代社会の諸課題に向き合う		
著書・論文 研究課題等	<p>著書（単著・共著）、論文（単著・共著）は大学の HP から確認して下さい。そうすると私の専門分野が具体的にわかりますし、ゼミで扱う内容も理解できると思います。著書・論文以外に、訳書、翻訳論文、学会報告などの欄があります。そこもチェックしてもらえるとゼミ選びの際に役立つと考えます。</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：歴史学 歴史教育 社会科教育 多国間共同歴史教材 日中・日韓授業交流 歴史対話			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p>7期生を募集します。本ゼミは、歴史学や歴史教育を中心とした社会科教育を専門的に扱うゼミです。下記のように、ゼミを大学生活の基本にすえられる方を募集します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 卒業論文を歴史学や歴史教育、社会科教育、地域研究中国に関わって執筆することを志す方 歴史学や歴史教育、社会科教育の研究史や実践史、最先端の研究成果に興味がある方 知多半島と戦争、産業、教育といった地域からみた歴史を調査することに参加できる方 文献を読むことや議論、班活動、班発表などが苦にならない方 ゼミを希望する方は、エントリーの前に必ず面談をして下さい。その際、ゼミで深めたいテーマとその理由について話してもらいます。 高校までの社会科の試験の点数や大学の GPA、知識量などは問いません。教員志望でない方も受け入れます。 <p>これまで行ってきたフィールドワークは、大学周辺、知多半島、名古屋、京都、広島、ソウル、晋州（韓国）、上海、南京などです。自由参加になります。懇親会は、全員参加が原則です。</p> <p>3年生は文献や論文を輪読します。また、テーマを決めて班活動を行い、班発表をします。4年生は1年間かけて卒業論文を作成します。</p> <p>なお、社会の理解は一領域では完結せず、総合的な学習と理解が必要となります。このため、他の社会系の先生およびゼミとの相互交流・指導を行います。他のゼミとの共同研究や調査などにも積極的に参加できる方を希望します。</p> <p>また、学生同士で自主ゼミを運営し、ゼミ報告や卒論作成などに取り組める方が望ましいです。ゼミは、2年間で1回1.5H×60回＝90時間しかありません。4日間に満たない時間です。ゼミの時間以外もみずから問題意識を深めるために役立てられる人が本ゼミに向いていると思います。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>私の専門は、日本が行った戦争や植民地支配、戦場を知らない世代が、そうした歴史に向き合うためにどのような教材、授業が必要なのか、というものです。具体的には、日中韓共同の歴史教材を作成したり、日中や日韓の授業交流を通して、戦争非体験世代が世代や国境を越えて学び合う空間や経験を創ったりすることを試みています。</p> <p>上記以外には、日本軍が日中戦争の際に行った偽札作戦（通貨戦争）を研究しています。偽札作戦は、直接、人を傷つけたりしませんが、生活を破壊し、たとえ戦争が終わっても相手国の生活や子どもたちの教育の機会、そして未来を壊し続けます。日本軍が日中戦争で行った偽札作戦を明らかにすることは、戦争の本質を学ぶうえで大切なことだと考えています。</p> <p>私の研究フィールドは中国です。よって、中国の高校生や大学生とゼミ生とが歴史認識をめぐって交流できる機会を創ればと考えています。直接、中国に行くか、Zoom など遠隔になるかはコロナの状況によります。中国語はできなくて OK です。できれば、なおいいですが。</p> <p>ゼミでは、教採対策に関わる面接練習や問題練習は一切行いません（相談にはのります）。上記のゼミナール概要を読んで、2年間、ゼミの仲間と学び合うことを希望する学生が集うことを期待しています。</p>			